

関係性の発達を うながすために

～音楽にみる介入のテクニック～

カーリン・シューマツハー氏

(ベルリン芸術大学名誉教授)

<通訳>鈴木クプスキー園子氏(ハーゲン・アンブロック脳神経科病院音楽療法士)

午後のセミナーでは、午前中の講演「関係を築く力を養うために ～自閉症児との音楽療法から学べることは?～」を基調として「では、音楽療法士はその介入によって、どのように関係性の発達をうながせるのか?」を、楽器を使ったロールプレイを通して学んでいきます。

ここで試される介入の方法は重度発達障害、特に自閉症児に焦点を当てて使われているものです。共同注意(ジョイント・アテンション)が十分に育っていないクライアントの場合、一緒に行う音楽活動を成り立たせることは困難です。ではまずどのような介入が、そのクライアントに必要なのでしょうか?

これは自閉症児だけではなく領域を超えて使える介入の方法です。参加者の皆様のご経験も交えて話し合う機会を持ちたいと思います。

2024年2月11日(日) 13:30～16:45

※午前中の講演会「関係を築く力を養うために～自閉症児との音楽療法から学べることは?～」10時～12時にご参加ください。

会場:相模女子大学833教室

定員:20名(先着順) 参加費:5,000円

お申込み・お問合せはこちら



【お申込期間】
2024年1月5日(金)～2月2日(金)

<https://forms.office.com/r/Q46T9BaFpQ>